

# 2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11813	科名 ファッション高度専門士科2年	単位	1単位
科目コード 600900	科目名 ファッションマーケティング	授業期間	( 後期 )

担当教員(代表) : 勝又 淳司	共同担当者 :
------------------	---------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・マーケティングの基本を学び、市場の細分化とその特徴を理解する。
- ・社会・経済の現状を理解しながら、マーケティングのプロセスにそって、市場に適合したブランド設計を行い、目的を実現させるための戦略について学ぶ。

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

<前期 : 13コマ>

1. オリエンテーション・PEST分析：世の中の流れを感じよう（講義・演習×1コマ）  
ファッションビジネスの変遷・産業構造と職種
2. マーケティングとは（講義・演習×1コマ）  
・マーケットとは・マーケティングとは/企業の戦略  
・4Pと4Cの考え方
3. マーケティングのプロセス（講義・演習×2コマ）  
・STPマーケティングとは T:ターゲットとライフスタイル  
・ライフスタイルMAPを作成  
・プレゼン 発表
4. ブランド(ショップ) デザイン動向リサーチ（実習・プレゼン×4コマ）  
・ブランドショップ/WEBサイト調査/ブランドのターゲット・デザイン動向比較  
・P:ポジショニングとテキスタイルのグレード  
・リサーチのまとめ  
・プレゼン 発表
5. ブランド設立課題・企画書作成（点検・実習×4コマ）  
・PEST分析：社会全体の状況 → ブランド概要の設定  
・ターゲットライフスタイル分析  
・ポジショニングマップの作成  
・メインアイテムとメインデザインの設定
6. プレゼンテーション（発表×1コマ）

## 【評価方法】

- ・S～C・F評価
- ・評価基準：出席20% 学業評価 60%、授業姿勢 20%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 配布プリント

## 授業の特徴と担当教員紹介

- ・マーケティングの基本を理解し、市場に適合したブランド設計を通して、目的の実現に向けた戦略を学ぶ。
- ・2006年 文化服装学院ビジネス専攻卒。東証一部上場の国内スポーツアパレルメーカーにて、MD、営業を中心に14年間勤務後、文化服装学院の教員に。実務経験と理論の融合を目指します。

記載者氏名 勝又 淳司

# 2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA1	科名 ファッション高度専門士科1年	単位	単位 1
科目コード 304010	科目名 服飾手芸 I	授業期間	半期 (前期)

担当教員(代表) : 白戸 薫	共同担当者 : 齊藤 美子
-----------------	---------------

**概要**  
 服飾手芸全般における基礎知識を学び、それぞれの技術を基にして服飾造形及び服飾小物などに応用発展できるようにする。  
 また、素材・テクニック・造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする

【授業計画】  
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1. 手芸一般知識(0.5)**  
手芸の変遷や技術の種類などを理解させる
- 2. レース表現 マクラメレース 基礎作品1点制作(2)**  
結び表現のみで効果を出すマクラメレースの基礎テクニックを理解し、応用発展できるようにする
- 3. レリーフ・ライク表現 ラティスマッキング 基礎刺し製作1点(1)**  
布の縫い縮め方によって新しい表面効果を表現するテクニックを習得させる
- 4. 装飾造形表現(平面) ブローチ製作 作品1点制作(2.5)**  
キャンバスワークの技法を用い、くるみボタンの要領でブローチを製作するテクニックを習得させる
- 5. 装飾造形表現(立体) コサージュ制作 作品1点制作(2.5)**  
様々な技法での布を生かしたコサージュの制作、各自制作した服に合うコサージュ作りのテクニックを習得させる
- 6. 加飾美表現 エンブroidアリー・各種装飾技法 オリジナルバック制作(6.5)**  
様々な手芸テクニックを用いてデザイン発想から色、素材の扱い方などを習得しオリジナルの装飾表現方法を理解、習得させる

**評価方法・対象・比重**  
 S～C・F評価  
 評価基準：学業評価80% 授業姿勢20%

**主要教材図書**  
 教科書：文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧手芸 文化服装学院編 文化出版局

**参考図書**

**その他資料**

**授業の特徴と担当教員紹介**  
 服飾手芸全般における基礎知識を学び、それぞれの技術を基にして服飾造形及び服飾小物などに応用発展できるようにする。  
 また、素材・テクニック・造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。

記載者氏名 白戸 薫

# 2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KA2	科名	ファッション高度専門士科2年	単 位	1単位
科目コード		科目名	帽子	授業期間	後期 (B週)

担当教員(代表) : 窪田 恵美子	共同担当者 :
-------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定)  
 帽子の一般常識と帽子に対する知識を深め、服飾に於ける帽子の位置づけを理解させる。  
 トータルイメージを表現する力を養い、作品制作を通して帽子のイメージや服とのバランス感覚などを把握

I オリエンテーション 講義 [1コマ]  
 ・帽子の形の種類、素材、木型、用具、用語、頭のサイズなど専門性の説明

## II 実物製作 2作品の説明

(1)冬物帽体 (フェルト帽体) の製作 講義・演習 [6コマ]  
 ・帽子用のフェルト帽体 (ファーフェルト) による実物製作  
 ・木型など専門用具の使用法、型入れによる形づくりを指導  
 ・スチームボイラーを用いて、蒸気によるデザイン別成形方法を指導  
 ・トリミング (装飾) 及び仕上げについて指導

(2)布帛作品の製作 講義・演習 [7コマ]  
 ・基礎作図3点  
 ・基礎作図からのパターンの応用、製作方法  
 ・仮縫い方法、芯地の選び方、縫製技術についてデザイン別に説明  
 ・素材別の製作方法

評価方法・対象・比重  
 S~C・F評価、 評価基準：作品80%、授業姿勢20%

主要教材図書 文化ファッション体系 ファッション工芸講座1 帽子 基礎編
参考図書 The HAT magazine
その他資料 コスチューム資料室標本

授業の特徴と担当教員紹介  
 企業での帽子ブランドのデザイン・製作を担当し、現在は個人の帽子ブランドを立ち上げ、百貨店やギャラリー、ショップなどで販売展開をしており、専門素材や用具を使用しての帽子製作を通して実践的な作品制作を実施し習得させる。

記載者氏名 窪田 恵美子

科コード	科名ファッション高度専門士科3年	単位	1
科目コード KA31101710	科目名 ニットアパレル造形 (カット&ソー) 1	授業期間	2022, 4, 14~2022, 7, 7

担当教員(代表) : マレイ(有)取締役 西川 真令	共同担当者 : マレイ(有) 中川絵里奈
----------------------------	----------------------

## 教育目標・レベル設定など

美しいシルエットを作る立体裁断とパターンの理解  
丸編みで立体裁断の基礎知識とカットソーの縫製知識を理解する

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、  
講義とパターン作図と縫製実習内容

丸編みのニットジャージー素材の基礎知識と各種カットソーミシン縫製技術習得

美しいシルエットの基礎知識を立体裁断で取得

パターン作図技術、縫製、プレス、袋縫い納品までの実践指導。

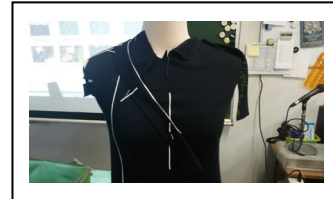
カットソー丸編み概論・丸編みを中心にしたニット素材のパターン製作と縫製の基本的知識の習得。パリコレや東京コレクションでの豊富な経験と知識の情報を伝える。

講義 4/14#1,2

カットソー立体裁断指導

ピンワーク V 衿Tシャツとタンクトップの2型実践指導

講義 4/28 #3,4



立体裁断の作図

ダーツ無し美しいシルエットパターンの立体裁断の実習指導

人間工学に沿った着やすい作図

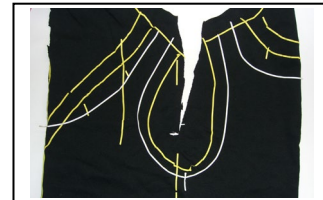
工業パターンの習得と高級感のある縫い方技術指導を教える。

前身頃・後身頃が1枚のパターンで立体裁断作図指導。

ノーダーツの美しいバストシルエット、

立体裁断の基礎実習 衿の立体裁断考察カッティングの指導

講義実習 5/12 #5,6



ダーツ無し美しいシルエットパターンの立体裁断習得 人間工学に沿った着やすい作図 工業パターンの習得と高級感のある縫い方指導をもって教える。

V 衿Tシャツとタンクトップ2型縫製実習

マチ針を使わないで縫い上げる現代縫製工場の指導、

生地目の理解させた基礎縫製と made in Japan の上級縫製仕上げを原則として指導。

カットソーにおけるW付け衿とバインダー衿の基本的縫い方の習得、衿ネーム付け、選択絵表示、プレス、ビニール袋詰め、検品検針の商品としての実践的商品作りの縫製指導をする。



縫製実習 7/16 #6, 7



タンクトップはバインダー仕上げ肩合わせ縫いのイージーな作りでなく

難度の高い接ぎを見せない作りを指導

常にパリコレ等を目指す高級仕立て縫製を教える。

裏毛パーカー（木グレー30/10 綿裏毛とテレコ）

各自パーカーの平面作図の製作と、裁断。 講義指導 7/30, #8, 9

服の常識・重ね合わせのフードの考え方指導

木グレー裏毛 30/10 の生地解説、多種フードのデザイン解説、

カンガルーポケットの縫製、テレコリブの縫製考察、

付加価値を上げる縫い方衿折伏せテープの仕上げ縫製、

縫製実習 6/26, 7/7 #11, 12, 13, 14



評価方法・対象・比重

実技評価 S A B C

主要教材図書

マレイの「カットソー・立体裁断・縫製」本

参考図書

その他資料 パリコレ等で縫ったサンプルや海外製品を参考見本とする

授業の特徴と担当者員紹介

特徴：

丸編みカットソーの先駆的縫製仕上げ、特許を含めた、シルエットはパリオートクチュールレベルのノーダーツの美しいシルエットの立体裁断の指導、

現在の日本人デザイナーの問題点を越えた、ノーダーツで美しいバストシルエットと美しい衿のデザイン指導。

縫製はイージーな開発国的縫製ではなく クラシックは基本縫製を含めての現代縫製のマチ針を使わない高度な縫製を

簡単に教えること、一枚のパターンで作られる創造的な既製服パターンを指導すること。

実践教育としての考え、社会に出て即 就職した企業で活用できるパターン・縫製・デザインの指導教育。

担当者員紹介：

大学卒業後文化服装学院服飾産業科編入学 デザイン科在学中に川上三郎繁三郎や山本寛斎のカンサイスポーツの仕事をする、(株)寛斎 入社後国内チーフデザイナーでパリコレを手伝う、帰国後は(株)アルファークウビック、(株)菊池武夫でデザイナー後、

1985年マレイ(有)設立 (株)イッセイミヤケ、(株)ヨウジヤマモト、ナカノヒロミツ等のサンプルと量産を手がける、現在もトーガ、アンダーカバー、ヨウヘイオウノ、ビアンカ、コスミックワンダー等デザイナーブランドを手がけ、幾多の特許取得とTVショッピング等に企業活動をしている。

記載者書名欄 西川真令

# 2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KA3	科名	ファッション高度専門士科3年	単位	2単位
科目コード		科目名	コンピューターグラフィックⅢ	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：高橋 翼

共同担当者：

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

Adobe Illustrator を使用した精密な製品図の作成、企画段階での資料構成を学ぶことにより、デザイン表現、プレゼンの表現力の向上を目的とする。その他にデザインノートの作成や図案などの柄表現においても高いスキルの習得を目指す。

## 【授業計画】

### ●使用ソフト

- ・ Adobe Illustrator / Photoshop

### ●指導内容

- ・ Tシャツの作成 Illustratorの復習
- ・ ランニングの作成 : Illustratorの復習
- ・ ワイシャツの作成 : Illustratorの復習
- ・ 柄の作成 : チェック柄などの基本柄の作成
- ・ 小物・アクセサリ表現 : ファスナーなど小物の作成
- ・ ベースイラスト作成(顔・体) : 各自、好きなブランドの服を選びトレース
- ・ スタイル画の作成(模倣) : 各自、好きなブランドの服を選びトレース
- ・ 製品図の作成(オリジナル) : これまでに制作した服を選び製品図に起こす
- ・ ポートフォリオ : 構成内容、印刷の仕方について
- ・ Sports Mix(コンセプト決め) : Sports Mixをテーマに実務レベルの資料作成
- ・ プレゼン : これまでの作成物を発表・提出を行う

### ●提出課題

- ・ ベースイラスト
- ・ 製品図
- ・ Sports Mix企画書一式

## 【評価方法】

評価基準：出席評価を前提とし、課題提出内容を加味し、総合的に評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

製品図などの表現方法を学ぶと共に現場で通用する企画書、指示書、依頼書など一連の流れを身に付けられる。

高橋 翼

デザイン事務所、デザイン専門学校学科長、アウトドアスポーツメーカーデザイナーを経て現在に至る。ファッションやプロダクト、サステイナブル分野を中心にデザイン活動、教育、ワークショップなど幅広く活動。

記載者氏名 高橋 翼

# 2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054	科名 ファッション高度専門士科4年	単位	2単位
科目コード 200230	科目名 アパレル染色演習Ⅲ	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：眞田玲子	共同担当者：
---------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)  
 アパレルデザインを行う上 重要である素材の染色加工に関する専門知識を養う。  
 理論・技法・工程など実技を通し習得する。 時代に沿った 各種表現方法を分析し構成する。

【授業計画】  
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	ガイダンス 授業内容 課題説明	16	卒業制作コンテスト等の素材作り デザインワーク
2	テキスタイル商品 参考作品の紹介	17	〃
3	布地の造形要素の理解オパール加工実験アルミ溶解編	18	オリジナルテキスタイル企画制作
4	〃	19	〃
5	オパール加工実験 セルローズ 溶解編	20	〃
6	〃	21	習得した技法を駆使、目的に沿った生地を制作する
7	シルクスクリーン(製版) 印捺にて 箔加工	22	作業工程を見直し 必要量の生地を制作する
8	〃	23	製品図 工程表をまとめる
9	シルクスクリーン(製版) 印捺にて 特殊プリント	24	↓
10	〃	25	
11	シルクスクリーン(製版) 印捺にて フロッキー加工	26	
12	〃	27	
13	藍抜染 ヒートセット 絹塩縮など 表面効果の	28	
14	〃	29	
15	サンプル制作や アパレル用素材の準備	30	

評価方法・・  
 ①試験0% ②課題提出70%③授業姿勢10%④出欠席20%⑤その他0%による総合評価

主要教材図書
参考図書
その他資料 各種技法の作業工程 レシピ配布

授業の特徴と担当教員紹介  
 企業におけるテキスタイルデザイナーの経験をもとに繊維素材の実用性、アパレルデザインにおける必要な図案や素材との調和など染色加工の企画制作を実施。

記載者氏名 眞田玲子

# 2022度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	ファッション高度専門士科 4-1・4-2	単 位	1 単位
科目コード	科目名	生産管理各論 製品企画（選択）	授業期間	前期

担当教員(代表)： 副島 恵	共同担当者：
----------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

授業概要>製品（商品）企画・生産に必要な知識やルールを学習し、書式で理解し、サンプル作成を実践する。  
 到達目標>グループ内でよくコミュニケーションし企画をまとめる事。実際に中国工場にサンプル依頼する事。  
 レベル設定>販売可能なレベルの指示ができ、製品（商品）サンプルが指示通り上がってくる事。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	内容	日程
① オリエンテーション (PLAN)	講義・実務	1	前期の全体像の説明と MD PLAN について	4/12
② ブランディング (MD 論)	講義・実務	1	解説後実際にグループに分かれて実務	4/19
③ SALES 会議 (価格と数量)	講義・実務	1	解説後実際に分析し、座標に落とし込む	4/26
④ DESIGN 会議 (デザインとは?)	講義・実務	1	解説後実務・名刺デザイン・MAP・絵型	5/10
⑤ 生産会議 (生産管理論 4 大要素)	講義・実務	1	講義後・洗濯ラベル・パターン	5/17
⑥ 素材論・トワルチェックについて	講義・実務	1	解説後・作成するアイテム素材を選定	5/24
⑦ 素材メーカー訪問	企業訪問	1	実際に生地メーカー訪問・商談形式	5/31
⑧ 仕様書・付属表	講義・実務	1	1st サンプル用仕様書作成	6/7
⑨ サンプル依頼準備・サンプル依頼	講義・実務	1	トワルチェック・仕様書完成	6/14
⑩ 原宿カケン訪問	企業訪問	1	試験方法を実際に見学する。	6/21
⑪ 工場との確認事項・品質について	講義・実務	1	メールでのやり取り・検査機関訪問	6/28
⑫ 1st サンプル CHECK	講義・実務	1	実サンプルの CHECK・最終の COST	7/5
⑬ 販売注意事項・販路について	講義・実務	1	撮影・販売方法・シミュレーション	9/19
⑭ BULK PRODUCTION に向けて	講義・実務	1	BULK 仕様書を完成	9/13
⑮ 商品プレゼンテーション	講義・発表	1	各グループ作成商品のプレゼン	9/27

【評価方法】学業評価・商品完成度 50% (製品の企画から製造工程と生産管理に必要な事項が理解できたかどうか、サンプル完成度)  
 授業姿勢・グループ貢献 50% (チーム内でコミュニケーションして、自分の担当箇所が予定通りできたかどうか)

主要教材図書 ; オリジナルテキスト

参考図書 ; 随時必要文献、必要 UP DATE 情報

その他資料 ; 特許庁 HP 、校外授業予定 ; 生地メーカー (フジサキテキスタイル )、検査機関 (原宿カケン)

授業の特徴と担当教員紹介 ; PLAN+DO+ SEE+ GO (企画から実構築+確認+再構築+進行)

記載者氏名 ; 副島 恵 (26/APR/ 2022 Tokyo)